

『人権講話』風景

令和2年9月23日

【人権学習(多様な性を知る)】

9月17日(木)に全校生徒を対象に人権講話を、LGBT-JAPANの児島希望氏を講師にお招きし実施しました。

本校では、『人権学習』講話を実施することで、人権意識を高め、多様な性を認め思いやりあふれる学校づくりを目指しています。



今日はLGBTQについて沢山のことを知ることができました。道徳の時間にも学習しました。私はもし身の回りの友達がそのようなことになったら、悪口を言わずにプラスなことを言って安心させられたらいいと思いました。また、人を笑ったり、こそこそ言っている人がいたら注意できるように心がけていきたいです。



今日、LGBTQを学習して沢山のことを知りました。世の中には女の子が女の子を好きな人や男の人が男の人を好きという人が沢山います。その人達を特別扱いせず、いつも通りに接することが大事だと言うことも知りました。

もし、友達にLGBTQの子がいたら、その子の気持ちを理解しいつも通りに接しようと思います。



私たちは今までに授業でLGBTQについて学んだことがありましたが、児島さんのお話を聞いて、さらに理解を深めることができました。多様な性がどのように違うのかを学びました。授業では分からない体験談を聞くことで、当事者の気持ちも分かりました。多様な性を特別扱いせず、個性を尊重していきたいと思います。



今日、多様な性について沢山学ばせていただきました。今まで「おかま」という言葉を沢山使ってきました。今思うと、人を傷つけていたのかなと思います。一番残っている話はカミングアウトです。これを言うとき言われるときはすごく勇気があるのだなと思いました。これからも言葉使いには気をつけて、相手を尊重していきたいです。



今日はLGBTのことについて教えていただきました。私たち3年生は1学期に、ビデオを視聴しながらLGBTQ+の授業をしました。今日の講話を聞いて心に残ったことは、「セクシャリティーは個性の一つでありLGBTQの当事者が特別なことではない。」ということです。LGBTの人は10人に1人はいて、身近なことで一人一人の考えを否定せず、尊重することが大切だなと思いました。自分の個性も大切に、周りの人を思いやる気持ちを持って行動したいです。

